

外国学図書館LS講習会

# 孤独な卒論、脱却へ

10月26日（木）

# 卒論のリアル

- 先生も忙しく、思ってるよりも多くは教えてくれない。
- 自分が分からないことは、だいたい友達も分かってない。
- 身近な先輩の話を聞きたいけれど、相手は忙しい社会人。
- ギリギリ（12 or 1月）になってヤバいことに気づく。  
→ 「まあ、いいや。」であきらめざるをえなくなる。

# 本日の講習会の目的

卒業論文執筆にあたり何か問題に直面した時に、

「**どこで、どのような**支援を受けられるのか」がわかるようになり、身近な学術リソースを上手く頼って、実りある卒論を提出できるようになること。

# 本日の講習会の目標

1. 卒論執筆時の問題に直面した時に、指導教員以外で頼れる人の存在を挙げる事が出来る。
2. 卒論執筆時の問題に直面した時に、参考になるWebサイトを挙げる事が出来る。
3. 本講習会での学習内容をより深め、実りある卒論を提出できるようにする。

困ったら相談  
しよう！

頼れるって  
いいたい

✓ 誰に？

→①図書館の場合、こんな人が  
います

✓ 何に？

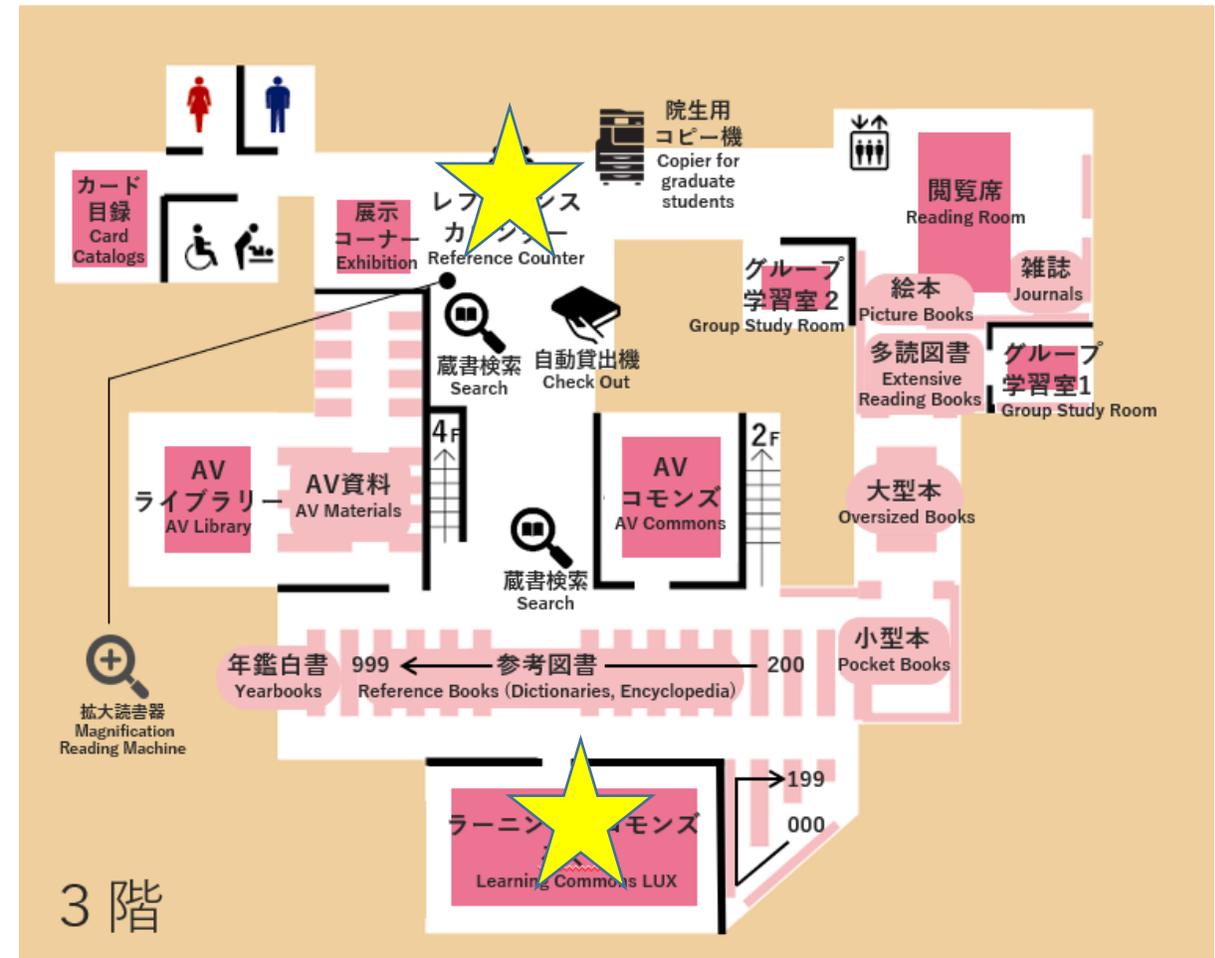
→②こんなサイトも  
使えます

まずは知ることから……！

誰に頼るか

# 頼れる存在は意外と近くにいる！

- 図書館職員さん
- LS (ラーニング・サポーター)



# 図書館職員さん

- 資料検索の専門家。
- そもそもの情報検索方法から、自力じゃ手に入らない資料の調達まで、プロがサポートして下さります。

# 図書館職員さん

- 各専攻語のゼミに現れて、卒業論文の執筆に役立つ文献検索方法を指南することも
- 「資料がない！」と嘆く前に声をかけてみよう！  
(図書館3階のレファレンスカウンターへ！)

# LS（ラーニング・サポーター）

- 大雑把に言うと、みなさんの先輩。
- そんなに偉くて、賢いわけじゃないけど、全員卒論経験済み。
- 卒論以外の論文執筆の悩みにも直面済み、というか直面中。

# LS（ラーニング・サポーター）

- 指導教員ほど専門的なことは言えなくても、一緒に考えたり、先輩としてアドバイス出来たり、ピンポイントで何かしら力になれるはずです！
- 意外と存在を知られてないのが玉に瑕...。  
（相談は図書館3階くすへ！）



どのサイトを頼るか—  
脱・初手Google

# 卒論で最も使ってほしいWebサイト

The screenshot displays the homepage of the Osaka University Library. At the top, the browser address bar shows the URL `library.osaka-u.ac.jp`. The library's logo and name, "OSAKA UNIVERSITY LIBRARY", are prominently displayed. A navigation menu includes links for "利用案内", "資料を探す", "学習・研究支援", "図書館について", "4つの図書館", and "Webサービス". A search bar is located in the top right corner. Below the navigation, a large banner image of a library interior is overlaid with a search interface. This interface includes a search bar with the placeholder text "キーワードで蔵書検索", a search button, and a link for "詳細検索 (OPAC)". Below the search bar, there are buttons for "蔵書検索", "電子ジャーナル", "電子ブック", "データベース", and "まとめて検索". A button at the bottom of the search interface reads "キャンパス外から電子リソースを使う". At the bottom of the page, a red banner contains the text "重要なお知らせ" and a date "2022/10/03" followed by the notice "新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う図書館の対応".

# ここからアクセスする利点

- 図書館の資料以外の検索ができるデータベースが豊富かつ1か所にまとまっている。
- 阪大に資料があるか確認しやすい。
- 阪大生の特権を利用できる。

# 図書館の資料以外にも検索ができる

- CiNii Research (和文論文)
- ProQuest プラットフォーム (英文論文)
- Japan Knowledge Lib (辞書や百科事典)
- その他、各新聞社のアーカイブ等々

# 阪大に資料があるか確認しやすい

## 前提

データベースで見つけた資料が、すぐその場で手に入るとは限らない。

→まず、阪大内にあるかどうかを探す必要がある。

- 学内から阪大のネットワークで接続した状態で、図書館Webサイト経由でこれらのデータベースを利用すると、すぐに阪大でアクセス可能かどうか分かる。

※学外であっても、図書館Webサイトトップページの「キャンパス外から電子リソースを使う」を経由して、一部のデータベース・電子ジャーナルにアクセスできる。

# 阪大生の特権を利用できる

- 阪大生は、阪大図書館の資料の利用はタダ！  
研究大学なので、豊富に資料がある。
- 多くの電子リソースは個人では利用できないし有料。  
→ 阪大図書館が契約しているリソースなら、  
阪大生は無料！

※個人利用の範囲で活用してください！データの大量ダウンロードや複製、再配布はできません…

- 他大学から資料の取り寄せもできる！

# 資料検索方法について詳細は...

- 外国学図書館作成  
「論文検索ガイダンス資料」

(外国語学部の3・4年生向けに文献の探し方を解説した資料)

[https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/ronbun\\_guidance/](https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/ronbun_guidance/)



# 他に、こんなものもあります！

- LS講習会

「外国語学部生のための資料検索入門」

「外国語学部生のためのレポート執筆入門」

「レポート・論文のための引用の技術」

- 現在LSは「るくす」にいます！

同じく3階レファレンスカウンターでは、図書館職員さんもいつでも相談にのってくださいます！

まとめ

## まとめ 意外と知らなかったかもしれませんが...

- 図書館職員さん、LS（ラーニング・サポーター）は、講義棟すぐ隣の図書館で皆さんのサポートが可能。
- LS講習会や、図書館Webサイトに挙がっている資料など、頼りになる情報にもアクセスできる！
- 阪大図書館Webサイトを起点に情報検索をすると、より便利に多くの資料にありつける！